

第1回 石川県社会福社会館の在り方検討委員会

会議資料

2023年5月1日
石川県健康福祉部

目次

1. 社会福社会館の概要 …… 1
2. 現状と課題 …… 2
3. 全国の状況 …… 3
4. 新会館の機能の検討 …… 4
5. 全国の施設整備の状況 …… 5
6. 会議室や研修室以外の施設の紹介 …… 6
7. 今後のスケジュール …… 8

1. 社会福社会館の概要

施設概要

所在 石川県金沢市本多町3丁目1-10

敷地 5,470㎡

建物 鉄筋コンクリート造4階建(地下1階付)

旧館：昭和41年建設 3,262㎡

新館：昭和47年建設 2,762㎡

計 6,024㎡

その他の施設

・附属施設

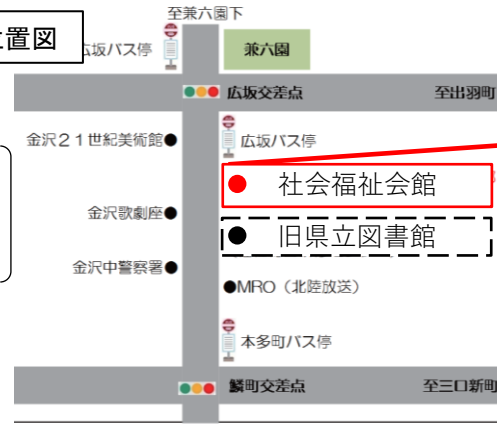
鉄筋コンクリート造2階建て 864㎡

・福祉総合研修センター

隣接する旧県立図書館の4階部分 995㎡

駐車場 62台(来客用43台、公用車19台)

位置図



入居団体等

○福祉関係団体等：約30団体

- ・(社福)石川県社会福祉協議会
- ・(社福)石川県聴覚障害者協会
- ・(社福)石川県身体障害者団体連合会
- ・(公社)金沢こころの電話
- ・(公社)石川県手をつなぐ育成会
- ・石川県肢体不自由児協会
- ・石川県知的障害者福祉協会
- ・(一社)石川県社会福祉士会
- ・(公財)石川県老人クラブ連合会
- ・石川県がん安心生活サポートハウス
- ・石川県町長会

など

○県の機関：石川中央保健福祉センター福祉相談部

- ・中央児童相談所
- ・女性相談支援センター
- ・身体障害者更生相談所
- ・知的障害者更生相談所

2. 現状と課題

会館の現状と課題

○昭和41年に建設後、築56年が経過し、**施設の老朽化、狭隘化が進行**

<各部屋の概要と課題>

部屋		階	面積(㎡)	利用状況
県の機関	事務室	1, 2	304	管理課、子ども・女性相談課、障害福祉課、判定課
	倉庫、書庫等	1~4 (地下含む)	466	倉庫、書庫、応接室、更衣室等
	相談室、プレイルーム等	1~3	493	各種相談用務等(児童、女性、身体障害、知的障害)
貸館	大ホール	4	373	入居団体が総会や会議等の目的で利用
	会議室	3	278	
福祉団体等	石川県社会福祉協議会(事務室、会議室等)	2~4	872	県社協が事務室、会議室、相談室等の目的で利用
	その他の福祉団体等(事務室等)	1~4	895	福祉団体等が事務室等の目的で利用
別棟	福祉総合研修センター(研修室、事務室等)	4 (旧図書館)	992	県社協が研修室、事務室等の目的で利用

課題

- ・老朽化、狭隘化
- ・会議室・研修室など、部屋の数・種類の不足
- ・駐車場の不足
- ・各部屋の機能的・効率的な配置
- ・デジタル化への対応
- ・本来、一体的に配置すべき研修センターが分かれている



<大ホール>



<会議室>

○住民向けサービスや機能が限定的であり、**近年の福祉ニーズへの対応が必要**

福祉団体からの主な意見

建替えに向けた、福祉関係団体への意見聴取の結果

- 現状は手狭であり**駐車場が不足**している
- 県内各地から金沢市中心部の本多町までの**アクセスが悪く時間がかかる**

- 今の時代に求められる**相応しい機能を備える必要**があり、建替え場所自体は大きな問題ではない

検討の方向性

現会館が抱える課題、福祉団体からの意見を踏まえ、

- 新たな会館の**コンセプト**、
- それを踏まえた新たな会館が果たすべき**機能**について、検討を進める

3. 全国の状況

近年建てられた全国の会館の機能（平成以降に建築された29施設の建設当時の状況）

機能	施設数
研修などの機能	21
福祉に携わる人材を養成する 研修	21
児童・生徒を対象とした 学習 機会の提供	4
高齢者福祉や障害者スポーツ等に関する 調査研究	3
福祉用具・点字等に関する 指導	3
相談機能	18
福祉に関する県民からの 相談	9
福祉 情報 の収集・県民や福祉関係者へ向けた提供	16
福祉用具の 展示	2
関係者などの活動の場としての機能	24
県民や福祉関係者の交流・ 活動 の拠点	16
広く県民が 利用 できる施設	11
防災 （災害時のボランティアやDWATなど）の機能 ※	2

機能の検討

○「研修」「相談」「活動」「防災」の4つの機能がある

○本県においても、この4つの視点を踏まえて、検討を進める

※「防災」は、令和以降に建築された2施設が該当
他県への聞き取りによると、近年は「防災」機能も重要と考えている

4. 新会館の機能の検討

考えられる機能案

I 研修 ～人材の研鑽、福祉を知る～

多様化する福祉課題やニーズに対応した**専門性の高い人材の養成**とともに、児童・生徒を対象とした学習機会の提供など、**広く県民が福祉に触れ、理解を進める**取り組みを推進

II 相談 ～円滑な福祉への接続～

誰もが気軽に相談できる窓口としての役割を果たすため、プライバシーに配慮した**相談環境の充実**、生活・就業・福祉など**様々な相談にきめ細かく対応できる**施設

III 活動 ～福祉に携わる人、支援を受ける人、それぞれの立場で活躍できる場所～

福祉関係団体やボランティア団体など**様々な方の活動を活性化**させることに加えて、高齢者や障害者の方を含め、**広く県民が「福祉」をキーワードに活動する**場

IV 防災 ～大規模災害時の民間ボランティアなどの拠点～

民間災害ボランティアやDWAT（災害派遣福祉チーム）の活動など、**災害時における福祉の支援拠点**

5. 全国の施設整備の状況

全国の施設整備の状況（平成以降に建築された29施設）

施設名	石川県	施設数	29施設の内、直近に建築された5施設				
			A県	B県	C県	D県	E県
ホール ※ (200人以上)	○	20			○		○
大会議室 (100人以上)		18	○			○	○
小会議室 (1~99人)	○	28	○	○	○	○	○
福祉図書館		15	○		○		○
セルフ商品の展示		7			○	○	○
飲食店		19		○		○	○
キッズルーム		8				○	
交流サロン		16	○		○	○	
展示ホール		7	○				○
体育室		12					
福祉用具展示室		14				○	○

※ 近隣に公的な建物が備える「ホール」がないため整備されたもの。稼働率の低さが課題。

6. 会議室や研修室以外の施設の紹介 (1 / 2)

福祉図書館

○福祉分野の図書、行政資料、雑誌、福祉新聞などの資料を収集し、閲覧・貸出ができる施設

- ・利用者が福祉について学び、情報を取得できる。
- ・専用のホームページから図書の検索が可能。
- ・ビデオ・DVDの閲覧・貸出に対応できる施設もある。



セルフ商品の展示

○県内各地の社会就労施設、作業所の施設利用者が製作した手芸工芸品やお菓子などを展示

- ・展示と合わせて、販売を実施している施設もある。店頭にはない商品の注文にも対応。



飲食店

○利用者に飲食を提供 (軽食・喫茶)

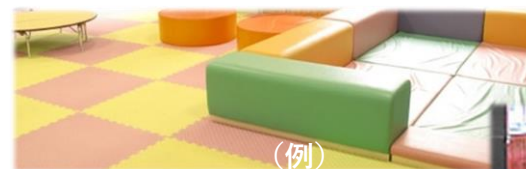
- ・社会福祉法人が運営し、障害をもった方の働く場のひとつとなっている施設もある。ギャラリーも併設。
- ・(例2)は、交流サロン内のオープンスペースに配置。



キッズルーム

○子どもを遊ばせることができる施設

- ・研修等の参加や各種作業に携わる利用者のお子さんを遊ばせることが可能。
- ・(例)は、ベビーベッド、おもちゃも配備。



6. 会議室や研修室以外の紹介 (2 / 2)

交流サロン

○利用者が気軽に打合せや休憩などができる空間

- ・ (例) は、情報コーナー、喫茶コーナーなども配置。
(吹き抜け空間)



展示ホール

○エントランスなどを活用した展示空間

- ・ (例) は、1階ロビーに配置し、イベント広場も併設。



体育室

○生涯にわたり、心身共に健康であるための体づくりを行う施設
(ダンス・ヨガ教室のほか、各種室内スポーツなど)

- ・ (例1) は、体育室の隣にシャワー室を配置。
- ・ (例2) は、収納式座席を備えた可動式ホールで、シンポジウムや各種福祉行事の開催のほか、スポーツ目的の利用にも対応。



福祉用具展示室

○障害者・高齢者の方が、自立して快適な日常生活を送るために必要な福祉用具 (車いす、ベッドなど) の展示・情報発信、体験使用などができる施設

- ・ 障害に合わせた用具の選び方、使い方、購入方法などについて専門相談員のアドバイスが受けられる。
- ・ (例1) は、障害に対応したIT機器 (重度障害者用意思伝達装置、視覚障害者・肢体不自由者対応パソコン) も展示。
- ・ 福祉用具と合わせて、住宅モデルルームを展示している施設もある。



7. 今後のスケジュール

本日の議論を踏まえ、

○夏頃、第2回検討委員会を開催

⇒ 「取りまとめ原案」に対する意見

○秋頃、第3回検討委員会を開催

⇒ 「最終的なとりまとめ案」に対する意見

（このほか、社会福社会館内にある県の石川中央保健福祉センター福祉相談部については、健康福祉部等と、本委員会の川並委員、横川委員と、金沢市の今寺誠氏からなるワーキンググループで検討していく